

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公表番号】 特表 2006-511471(P2006-511471A)
 【公表日】 平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-014
 【出願番号】 特願 2004-536624(P2004-536624)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)
A 6 1 P 13/12 (2006.01)
A 6 1 P 37/02 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 0 7 K 16/22 (2006.01)
 C 0 7 K 16/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 Z N A N
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 37/02
 C 1 2 N 15/00 A
 C 0 7 K 16/22
 C 0 7 K 16/46

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 9 月 15 日 (2006.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腎炎を効果的に処置するための医薬の製造における抗体またはその結合フラグメントの使用であって、該抗体またはその結合フラグメントが血小板由来成長因子 DD (PDGF-DD) と結合する、使用。

【請求項 2】

該抗体が完全ヒトモノクローナル抗体である、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】

該腎炎が、メサンギウム増殖性腎炎、メサンギウム増殖性糸球体腎炎、メサンギウム毛細管性糸球体腎炎、全身性エリテマトーデス、糸球体腎炎、進行性腎疾患、腎間質性線維症、腎不全、および糖尿病性腎症からなる群から選択される、請求項 1 記載の使用。

【請求項 4】

該腎炎が糸球体またはメサンギウム細胞の増殖と関連する、請求項 1 記載の使用。

【請求項 5】

該医薬が生理的に許容される緩衝液をさらに含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 6】

メサンギウム細胞の増殖を阻害するための医薬の製造における抗体またはその結合フラグメントの使用であって、該抗体またはその結合フラグメントが血小板由来成長因子 DD (PDGF-DD) と結合する、使用。

【請求項 7】

該抗体が完全ヒトモノクローナル抗体である、請求項 6 記載の使用。

【請求項 8】

該メサンギウム細胞がヒトメサンギウム細胞である、請求項 6 記載の使用。

【請求項 9】

該医薬が生理的に許容される緩衝液をさらに含む、請求項 6 記載の使用。

【請求項 10】

腎炎を検出するための組成物であって、該組成物は、PDGF-DDと結合する抗体またはその結合フラグメントを含み、該組成物は、腎炎に対するリスクのある患者由来の腎臓細胞を、該抗体またはその結合フラグメントと接触させるのに適し、ここで、検出可能な結合が腎炎の指標となる、組成物。

【請求項 11】

該抗体がモノクローナル抗体である、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 12】

該抗体が完全ヒトモノクローナル抗体である、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 13】

該抗体が、蛍光色素、酵素、放射性核種、および放射線不透過物質からなる群から選択されるマーカーで標識されている、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 14】

該結合フラグメントが Fab' フラグメントを含む、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 15】

該腎炎が、メサンギウム増殖性腎炎、メサンギウム増殖性糸球体腎炎、メサンギウム毛細管性糸球体腎炎、全身性エリテマトーデス、糸球体腎炎、進行性腎疾患、腎間質性線維症、腎不全、および糖尿病性腎症からなる群から選択される、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 16】

動物において、腎炎を効果的に処置するための組成物であって、該組成物は、血小板由来成長因子 DD (PDGF-DD) と結合する抗体またはその結合フラグメントの治療上有効用量を含む、組成物。

【請求項 17】

該動物がヒトである、請求項 16 記載の組成物。

【請求項 18】

該抗体が完全ヒトモノクローナル抗体である、請求項 16 記載の組成物。

【請求項 19】

該腎炎が、メサンギウム増殖性腎炎、メサンギウム増殖性糸球体腎炎、メサンギウム毛細管性糸球体腎炎、全身性エリテマトーデス、糸球体腎炎、進行性腎疾患、腎間質性線維症、腎不全、および糖尿病性腎症からなる群から選択される、請求項 16 記載の組成物。

【請求項 20】

該腎炎が、糸球体またはメサンギウム細胞の増殖と関連する、請求項 16 記載の組成物。

【請求項 21】

該組成物が皮下注射による投与に適する、請求項 16 記載の組成物。

【請求項 22】

該組成物が筋肉内注射による投与に適する、請求項 16 記載の組成物。

【請求項 23】

メサンギウム細胞の増殖を阻害するための組成物であって、該組成物は、血小板由来成長因子 DD (PDGF-DD) と結合するモノクローナル抗体またはその結合フラグメントを含み、ここで、該モノクローナル抗体は、増殖メサンギウム細胞を、該細胞の阻害された増殖となる条件下で接触させるのに適する、組成物。

【請求項 24】

該抗体が完全ヒトモノクローナル抗体である、請求項 23 記載の組成物。

【請求項 25】

該メサングウム細胞がヒトメサングウム細胞である、請求項 2 3 記載の組成物。

【請求項 2 6】

動物において、メサングウム増殖性糸球体腎炎を効果的に処置するための組成物であって、
該組成物は、血小板由来成長因子 D D (P D G F - D D)と結合する抗体またはその結合フラグメントの治療上有効量を含む、組成物。

【請求項 2 7】

該動物がヒトである、請求項 2 6 記載の組成物。

【請求項 2 8】

該抗体が完全ヒトモノクローナル抗体である、請求項 2 6 記載の組成物。

【請求項 2 9】

該組成物が皮下注射による投与に適する、請求項 2 6 記載の組成物。

【請求項 3 0】

該組成物が筋肉内注射による投与に適する、請求項 2 6 記載の組成物。